

分布上顕著な新津の植物 (1)

石 沢 進

新津丘陵に分布する新潟県絶滅危惧種

新津市内には、平野部にはりだした丘陵があり、自然に恵まれた地域である。古来から人々が利用してきた里山であり、多くの植物が分布し、貴重な地域として位置付けられる。その里山に生育する植物の中に、新潟県で絶滅の傾向にある植物があり、その種と生育状況を記録する。

「レッドデータブックにいがた—新潟県の保護上重要な野生生物」(2001)に掲載している種の内、新津丘陵に分布している維管束植物は次のようである。

絶滅危惧I類 (EN)

2000・2001年生育確認

オミナエシ:	新潟県 RD: EN	
キキョウ:	新潟県 RD: EN;	環境庁: VU
トケンラン:	新潟県 RD: EN;	環境庁: EN
クマガイソウ:	新潟県 RD: EN;	環境庁: VU

絶滅危惧II類 (VU)

サネカズラ:	新潟県 RD: VU	
ハンゲショウ:	新潟県 RD: VU	
ヒゴスミレ:	新潟県 RD: VU	
ハイハマボス:	新潟県 RD: VU;	環境庁: VU ○
ヤナギスブタ:	新潟県 RD: VU;	環境庁: VU
ヤマトミクリ:	新潟県 RD: VU;	環境庁: VU ○
エビネ:	新潟県 RD: VU;	環境庁: VU
キンラン:	新潟県 RD: VU;	環境庁: VU
ホクリクムヨウラン:	新潟県 RD: VU	○
ヒトツボクロ:	新潟県 RD: VU	

準絶滅危惧 (NT)

ウラジロ:	新潟県 RD: NT	○
オオバノハチジョウシダ:	新潟県 RD: NT	○
ツルデンダ:	新潟県 RD: NT	○
コシノカンアオイ:	新潟県 RD: NT	○

地域個体群 (LP)

アカガシ:	新潟県 RD: LP	○
ウラジロガシ:	新潟県 RD: LP	○
フユイチゴ:	新潟県 RD: LP	
ミヤマフユイチゴ:	新潟県 RD: LP	
ソヨゴ:	新潟県 RD: LP	○
ヒメヨツバムグラ:	新潟県 RD: LP	○

上記の植物の内、2000年と2001年の調査で新津丘陵における新たな産地の追加は次のようである(参考のため、他地域で新たに分布が確認できた箇所も追加する)。

【略号】 IS: 石沢の標本・後の数字は標本番号で新津植物資料室に保管、Photo: 写真資料・数字は写真ネガ番号、TY: 登坂裕一の標本・数字は標本番号で同氏保管、(1935~2001): 標本採集年あるいは写真撮影年、[] の数字: 地形図座標

ウラジロ *Gleichenia japonica* Spr. ウラジロ科 (写真 1)
秋葉三丁目、東島に分布を確認しているが、次の金津にも生育する。
新津市金津<菩提寺山道>:IS-(2000 Photo 2101-35)[新津 391375-22]

ヤマトミクリ *Sparganium fallax* Graebn. ミクリ科 (写真 2~5)
新津市金津における生育を確認する。詳細については下記の「新津丘陵の新産植物」の項を参照。

ホクリクムヨウラン *Lecanorchis hokurikuensis* Masamune ラン科 (写真 6・7)
緑葉を持たない腐生ランである。
新津丘陵では、田家 75m、金津居村 75mの分布を確認している。さらに以下の生育地を追加する。
新津市秋葉山秋葉公園 60m:IS-(1999 Photo 2168-33)[新津 391375-33];金津居村 70m:IS-359678(2001 Photo 2379-11)[新津 391375-33]

新津丘陵の新産種

マンリョウ(逸出) *Ardisia crenata* Sims ヤブコウジ科 (写真 13)
栽培品から種子が散布し、芽生えたものと思われる。
新津市田家(神社) 30m:IS-(2001 Photo 2460-2)[新津 391375-33]

ヤマトミクリ *Sparganium fallax* Graebn. ミクリ科 (写真 2~5)
県内におけるヤマトミクリの分布は、比較的広くて各地にみられるが、水湿地の減少や水路の改修により個体数は少なくなっている。新津の生育地は、埋め立て地のわきに僅かに残された水路であり、地上部の茎の数100本を超えていない。近くにミヤマシラスゲが多く、ヒメナミキ、ヤナギタデなど僅かに水湿地の植物が生育している。現在は利用していない水路であり、また観光地の近くでもあり、生育地が改変される可能性が大きい。新津丘陵には貴重な植物が多く生育しているので、小さな土地改変の際にも、植物に対する細心の配慮を願いたいものである。
新津市金津石油の里:IS-363107(2001 Photo 2461-6、2466-5~9)[新津 391375-22]

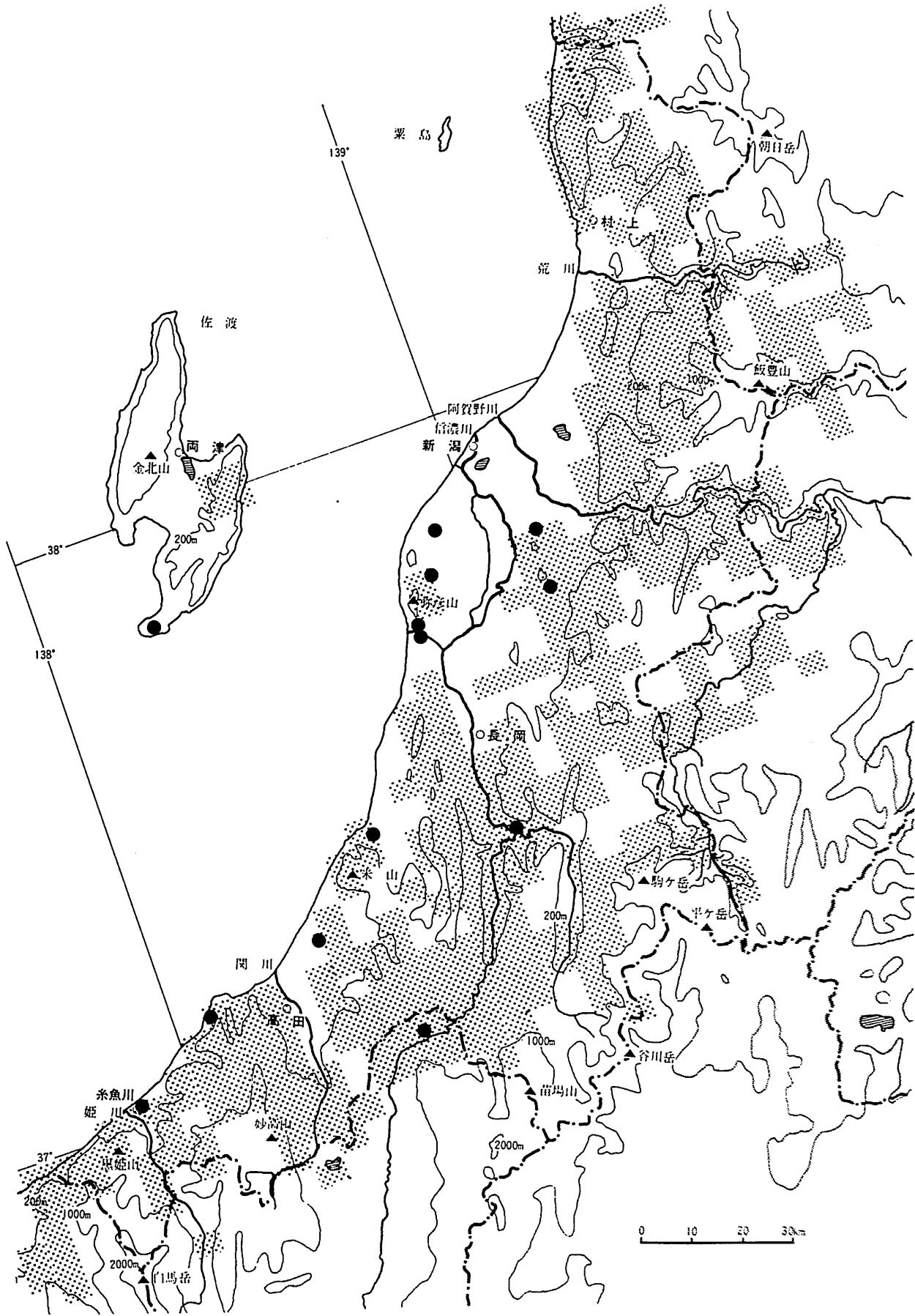
ボタンウキクサ *Pistia stratiotes* L. サトイモ科 (写真 14・15)
最近、新潟県内の湖に浮遊しているボタンウキクサをみかけるようになってきている。九州地方で大発生しているとの記録もある(清水他 2001)。1999年9月30日に秋葉公園の秋葉湖に小群落があり、多分人為的に投げ込んだものと思われる。2001年11月に生育状況を確認に現地を訪れたが、繁茂の痕跡もなかった。確認時期が秋遅かったか、あるいは越冬できずに枯死したことも考えられる。栽培種、他地域からの野生種など新津丘陵の自然の樹林内や池などに持ち込んだり、移植することは避けて頂きたいものである。
新津市秋葉山秋葉公園(池)30m:IS- Photo 2045-6・7(1999)[新津 391375-33]

その他新津における稀産または分布限界種

オオヒメワラビ *Deparia okuboana* (Makino) M. Kato オシダ科
金津白玉の滝、灰ヶ谷に分布している(石沢 1999)が、今回次の生育地を追加する。
新津市小口<朝日道> 30m:IS-(2001 Photo 2448-14・15)[新津 391375-33]
南魚沼郡湯沢町堀切(小久保沢) 350m:IS-352763・362917(2001 Photo 2277-6・7)[越後湯沢 384366-13]

ゲジゲジシダ *Phegopteris decursive-pinnata* (van Hall)Fée オシダ科 (写真 8)
これまでに金津白玉の滝の分布を記録しているが、秋葉山にも小さい個体が生育している。
新津市秋葉山秋葉公園 70m:IS-335304(1999 Photo 1960-36)[新津 391375-33]

キツネノマゴ *Justicia procumbens* L. var. *leucantha* Honda キツネノマゴ科 (写真 9~12)
1年草。茎は分枝して斜上し、6稜があり、下向きの短毛がある。



キツネノマゴの新潟県とその近隣地域における水平分布
 黒点はキツネノマゴの分布地点 細点はユキツバキの分布域

本種は、分布上顕著な植物としてすでに里山の植物で報告している(石沢 1999)。1年草であることから、その後の生育状況を確認した。2001年には、金津で群生した所もあり、花や果実をつけて生育状況は良好である。県内の分布は、中・上越に主に分布している(高橋 1989)。低海拔地に分布しているのでユキツバキの分布圏内の生育は少ない。

また、県内および近隣地域における分布地点[掲載標本や写真(Photo)資料]と分布図は次のようである。なお、掲載標本は、過去の文献(高橋 1989、池上・石沢 1990・1996・2000)からの引用と追加資料(*印:新確認地)による。

[掲載標本や写真(Photo)資料]

新潟市赤塚佐潟 5m: IS-242940(1989)

新津市金津 40m: * IS-362472・363104・360106(2001 Photo 2424-8~10, 2461-2~5・15~17・20~21)[新津 391375-22]

西蒲原郡弥彦村弥彦 40m: 池上義信 37850(1935 吉原正秀 760)

分水町大河津分水新信濃川(右岸) 7m: IS-319467・320253(1996)[三条 384374-14]

三島郡寺泊町蛇塚新信濃川(左岸) 4m: IS-350295(2000)[三条 384374-24]

加茂市上条 20m: 坪谷富男 4051(1961)

柏崎市赤坂町 30m: 白崎 仁(1989 小山洋子)

小千谷市船岡山 80m: IS-34374(1968)

中頸城郡大潟町鶴ノ池 5m: IS-350341(2000)[柿崎 382372-22]

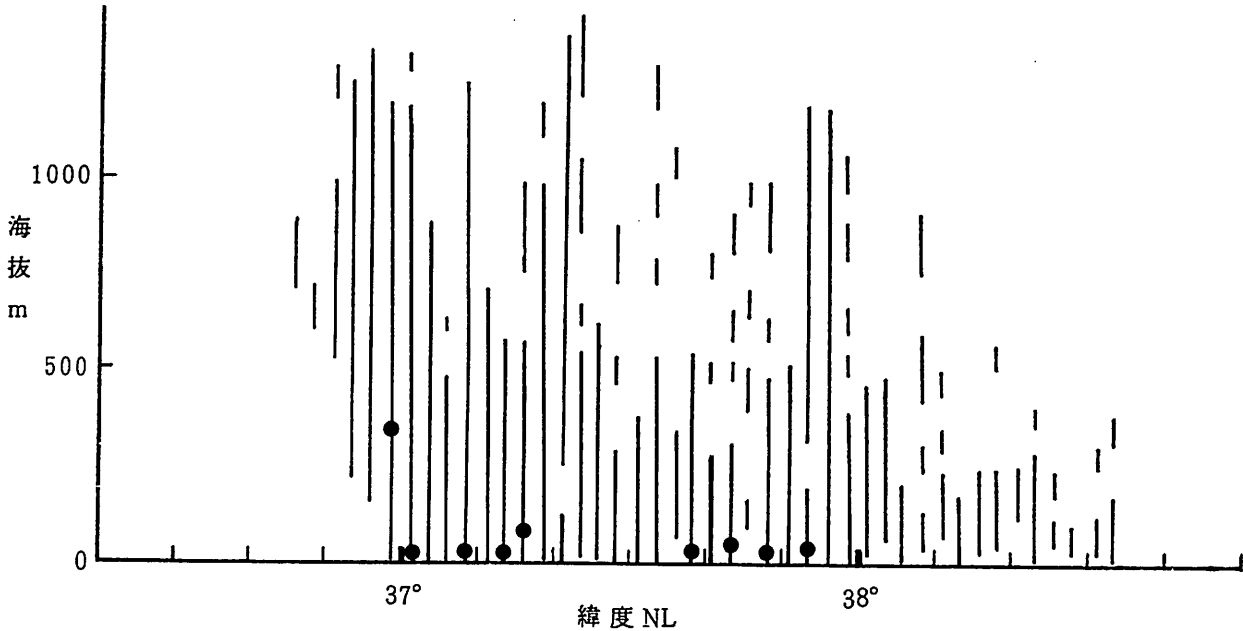
西頸城郡名立町坪山 10m: 石沢成実(1999)[高田西部 381371-24]

糸魚川市蓮台寺 10m: IS-223590(1987)

佐渡郡小木町宿根木: 白崎 仁 32944(1990 高津直数)[381375-44]

長野県下水内郡栄村横倉 350m: * 朱 雁(2001 IS-362777・362780)[苗場山 383366-14]

分布図[新潟県および近隣地域におけるキツネノマゴの水平分布]は(前頁掲載)。



キツネノマゴの新潟県とその近隣地域における垂直分布
黒点はキツネノマゴの分布地点 実線はユキツバキの分布域

文 献

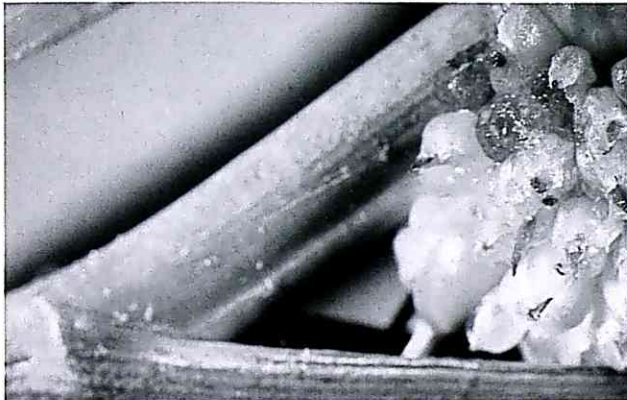
池上義信・石沢 進(1990) キツネノマゴ 新潟県植物分布図集 第11集:86 (佐渡の分布)
 池上義信・石沢 進(1996) キツネノマゴ 新潟県植物分布図集 第17集:127 (分水町の分布)
 池上義信・石沢 進(2000) キツネノマゴ 新潟県植物分布図集 第20集:97 (中頸城・西頸城の分布)
 石沢 進(監)(1999) 越後-新津丘陵に生きる-里山の植物 新潟県都市緑化センター
 新潟県(2001) レッドデータブックにいがた-新潟県の保護上重要な野生生物 新潟県環境生活部環境企画課
 清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七(2001) 日本帰化植物写真図鑑 全国農村教育協会
 高橋 務(1989) キツネノマゴ 池上義信(監)・石沢 進(編) 新潟県植物分布図集 第10集:363-364



[写真 1] ウラジロ 新津市金津<菩提寺山道>
[May 9, 2000:IS]



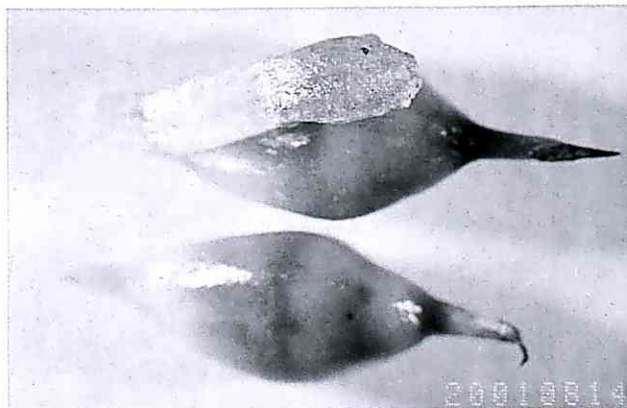
[写真 2] ヤマトミクリ 新津市金津石油の里
[Nov. 20, 2001:IS]



[写真 3] ヤマトミクリ 新津市金津石油の里
[Nov. 20, 2001:IS]



[写真 4] ヤマトミクリ 新津市金津石油の里
[Nov. 20, 2001:IS]



[写真 5] ヤマトミクリ (果実) 新津市金津石油の里
[Nov. 20, 2001:IS]



[写真 6]
ホクリクムヨウラン
新津市秋葉山秋葉公園 60m
[Oct. 5, 2000:IS]



[写真 7]
ホクリクムヨウラン
新津市金津居村
[Sept. 21, 2001:IS]



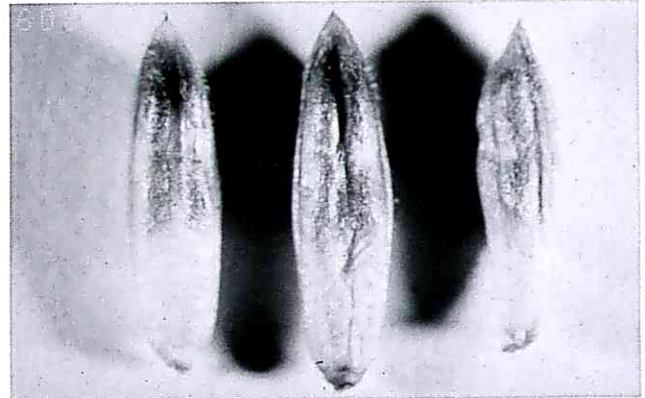
[写真 8] ゲジゲシダ 新津市秋葉山秋葉公園 70m
[May 13, 1999 :IS]



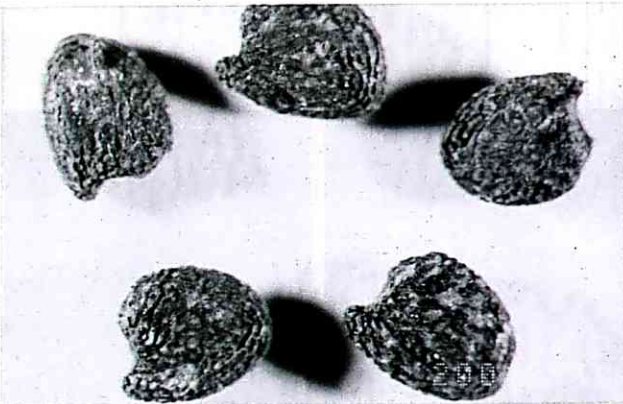
[写真 9] キツネノマゴ 新津市金津石油の里
[Nov. 20, 2001:IS]



[写真 10] キツネノマゴ 新津市金津石油の里
[Nov. 20, 2001:IS]



[写真 11] キツネノマゴ(果実) 新津市金津石油の里
[Nov. 20, 2001:IS]



[写真 12] キツネノマゴ(種子) 新津市金津石油の里
[Nov. 20, 2001:IS]



[写真 13] マンリョウ 新津市田家3丁目 30m(神社)
[Nov. 15, 2001:IS]



[写真 14] ボタンウキクサ 新津市秋葉秋葉公園
[Sept. 30, 1999:IS]



[写真 15] ボタンウキクサ 新津市秋葉秋葉公園
[Sept. 30, 1999:IS]